

福祉公社通信



イラスト 後藤章

福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。

誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

発行日 平成 27 年 2 月 10 日【第 23 号（月刊）】

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

冴え返る大気の中に、明日の春が息づいています。

冬至を過ぎると、一日に約 2 分、昼の時間が長くなります。

夕刻の明るさに、思わず、「日が伸びたなあ」と驚くこの頃ですが、如月の厳寒もこれからが本番です。

インフルエンザは例年より早く流行しています。

皆様には、くれぐれもご自愛の上、お健やかに過ごして下さい。



<紙面から>

権利擁護事業運営監視委員会報告 … 1ページ

高齢者総合センター デイサービス餅つき

北町高齢者センター新年会 … 2ページ

感染症について・お役立ちナビ … 3ページ

お知らせ・リレーコラム … 4ページ

平成26年度 第2回 権利擁護事業運営監視委員会 報告

権利擁護事業・成年後見事業の運営監視委員会が 1 月 23 日に開催されました。

この委員会は 5 名の外部委員により構成され、年 2 回開催されます。

今回は平成 26 年 7 月 1 日から 12 月 31 日までが対象期間で、金銭管理や財産保管が適正に執行されているかを検査し、事業執行を監督指導します。

委員会では、まず、専門職委員（司法書士）が 1 月 9 日に実施した金銭管理に関する悉皆調査の結果が報告されました。預貯金通帳に記載された入出金明細と領収書等を照合し、「問題なく業務が行われている。」との評価でした。これを受け、個別事案や成年後見の受任状況、サービス提供、事業全体の課題について議論され、委員会からは「利用者数は増加しているが、業務効率化のための適切な改善が見受けられた。」と講評されました。

期間中の権利擁護事業の新規契約は 18 件で、契約者数は 159 名、成年後見等の新規は 7 名で、68 名の成年後見人等に就任しています。

今後も、委員会の指導に沿って、着実、堅実に事業を実施し、身上配慮と財産管理両面で、市民の皆様が安心して老後生活を送れるよう力を尽くしますので、宜しくお願い申し上げます。

<専門職運営監視委員・宮田浩志司法書士インタビュー>（写真左から 2 番目）

Q 宮田委員は、成年後見制度発足時から、司法書士が組織する成年後見センター・リーガルサポートに所属してご活躍ですが、その立場から、福祉公社の権利擁護事業、成年後見事業については、どうお考えですか。

A 金銭管理のファイル数は膨大ですが、ご利用者の取引金融機関の絞り込み、自動振替の利用などで、支払事務を合理化していますね。その努力が分かりました。専門職後見人の場合、そう頻繁には現金のデリバリーはできませんので、その点では利用者目線と言うか利用者生活に即した支援も継続していて、公社の特長になっていると思います。後見人不足が言われていますが、社会貢献型市民後見人と言っても個人がベースですので、公的団体としての福祉公社が長年に亘り培ってきた信頼性は大きな財産です。成年後見で救済できた市民は氷山の一角です。障害者や生活保護者など、制度利用により保護されるべき人が、様々な理由から中々、制度につながらない現実があります。公社の公益性からは、このような人たちに手を差し伸べることも一つの使命と感じています。武蔵野の一市民としても頑張ってもらいたいですね。

平成 26 年度 運営監視委員		
委員長	棚橋正尚	元武蔵野市高齢者福祉課長
副委員長	山田修子	元武蔵野市障害者福祉課長
委員	矢島和美	民生児童委員第一地区会長
委員	亀田義治	税理士
委員	宮田浩志	司法書士



ご利用者 と おさなごで にぎわう♪

高齢者総合センター デイサービス 餅つき

1月7日に高齢者総合センターロビーでお餅つきをしました。

昨年に引き続き、今年も地域交流会として近隣の親子にお声かけし、8名が参加され、ご利用者、ボランティアの皆様、職員と総勢59名でのにぎやかな会となりました。

小さな体で力いっぱいお餅をつくお子さんの姿に、ご利用者は目を細め、こころあたたまる交流ができました。また、多くのご利用者が自ら杵を持ってお餅をつき、新年をお祝いしました。Yさん（右写真）は「昔はよく餅つきをしていたけど、18歳で田舎を出てからは一度もしていなかったから、60年ぶりの餅つきだ。今は腕の力がないから昔のようにはいなくて、手伝ってもらってポーズだけの餅つきだけどそれでも楽しかった。臼と杵でついた餅は台所の味がするね。とても美味しかった。」とのご感想でした。



また、若いお母さん方からは、「今回のような季節の行事をこれからも高齢者の方と共に経験したいです。

親としては戦争の話や昔の子育てについても聞いてみたいです。」「元気な人生の先輩方に会い私たちが元気になりました。なごやかな雰囲気ですね。また来年もきたいです。」とご評価とご要望を頂きました。

高齢者総合センターデイサービスセンターは今後も地域の方々とのつながりを大切に、ご利用者にとっても地域の方にとっても楽しく充実した行事を開催します。ご参加くださった皆様に、心より感謝申し上げます。



北町高齢者センター 新年会 盛大に開催

恒例の新年会が1月23日に開催されました。

満員御礼、ご利用者60名がお元気でご参加くださり、和気あいあい、楽しいひと時を過ごし、ともに新年をお祝いしました。

ご賞味いただいたお祝い膳は、12名のボランティアの方々のご協力でお心こめて調理した逸品です。

美味しく、上品で、「華」のある北町センター自慢のお祝い膳には、この一年を健康長寿で元気で乗り切る不思議な力がこめられているかのような感じでした。

ご利用者からも、「手作りのお料理がとても美味しかった。」「お品書きどおりのお料理がコンパクトにおさまっていて、たいしたものだ。」との声を頂きました。

調理に当たったボランティアのお一人は、「とても良い雰囲気で厨房に活気があり、よかったです。」とのご感想でした。

余興はマジックショー、二胡の演奏、和太鼓SOHのパフォーマンスと多彩なプログラムでした。

お金がザクザク出て来て、アツという間に消えてしまうマジックに驚き、二胡の音色を楽しみ、和太鼓SOHの勇壮な演舞と胸の底まで響く太鼓の音を堪能しました。ワッショイ、ワッショイと掛け声をかけて盛り上がり、ご利用者は一様に「太鼓の響きにエネルギーを感じた。」そうです。

毎年、変わらずボランティアの皆様には、まごころのこもったご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。



マジックショー

「いつもお話したことのない方と話ができて良かった。」と、ご利用者相互の親睦も深められた素晴らしい新年会でした。



和太鼓 SOH

インフルエンザやノロウイルスに注意しましょう！

今年も感染症の流行する季節がやってきました。

今季はインフルエンザの流行が例年より早く訪れ、予防接種の効果が出る前に感染してしまった方もいたようです。予防接種は有効な予防法の一つですが、誰にでも簡単にできる感染症予防といえば、やはり**手洗いとうがい**です。この季節は特に気を付けてこまめに手洗い、うがいをしましょう。

また、**部屋の換気**をこまめに行い、**湿度を40%以上に保つ**ことでウイルスに感染しにくい環境を作ることができます。さらに、**栄養と休養をしっかりとっておく**ことも、感染症に対する抵抗力をつけるために大切なことです。

次のような症状が出たら、インフルエンザやノロウイルスに感染している可能性がありますので、家族が同居している場合は別室で療養するなど、他の人にうつさないように留意し、かかりつけ医に連絡して受診の必要性等を相談してください。

インフルエンザ…38℃以上の発熱（高齢者は微熱のこともある）、頭痛、関節痛など
ノロウイルス…発熱（初期症状で微熱）、嘔吐、下痢



お役立ちナビ

自転車事故に ご注意ください！

高齢者総合センターデイサービス 柳野 聡

武蔵野警察署管内での平成25年度中の交通人身事故発生件数は406件（前年比4件減）でした。

発生件数はわずかに前年度より減っていますが、死者数、軽症者数が増加しています。

自転車利用が多い武蔵野市では、交通事故全体に占める自転車関連事故の割合が高く、平成25年度に市内で発生した交通事故の約50%は自転車に関係していました。そのような状況の中、高齢者の交通事故が増加し、大きな問題となっています。

買い物や通院、訪問などに自転車を利用する方も多いと思います。道路をふらつきながら走ったり、曲がり角を曲がりきれずによろけたりすることはありませんか？高齢者の傾向として、『視野が狭くなっている』、『耳が遠くなっている』、『バランスが保てなくなっている』など、身体的な機能の衰えがあります。また、『車が自分に気がついて避けてくれる』と思い込んでしまうこともあります。自分では、左右を確認しているつもりでも、よく見えていなかったり、バランスが保てずフラツいたりして転倒してしまうことがありますので、自転車走行中は十分ご注意ください。

交通事故総合分析センターのデータによると、高齢者の自転車事故は、「昼間」の「交差点」で多く発生しています。明るいからと安心せずに、交差点での走行には十分にご注意ください。自転車はルールを守って正しく乗りましょう。

「自転車安全利用五則」（警視庁HPより）

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道よりを徐行
4. 安全ルールを守る
 - ・ 飲酒運転、二人乗り、並進の禁止
 - ・ 夜間はライトを点灯
 - ・ 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
5. 子どもはヘルメットを着用



歩行者としても気をつけましょう！

- ・ ドライバーや自転車に乗っている人は、歩行者に気付いていないかもしれません。
- ・ 横断歩道を渡っている時も、車が近づいていないかどうか、車の動きにご注意ください。
- ・ 夕暮れ時や夜間に外出される時は、明るい服装や反射材を身につけましょう。

会社からのお知らせ

老いじたく講座

誰にでも訪れる老いに向けて元気なうちに準備しましょう。

日時 2月20日(金)

13時30分から15時

場所 福祉公社 1階 会議室

内容 成年後見制度について

問合せ・申込 在宅サービス課後見係 TEL23-1165

介護者支援教室 みどりの輪

日時 2月25日(水) 13時30分から15時

場所 高齢者総合センター4階研修室

内容 「家族でできる楽な介護」

講師 山本かの子氏

ケアワークラボ やまもと代表

問合せ・申込 在宅介護支援センターTEL 51-1974

高齢者総合センター デイサービスセンター・ひなまつり 親子参加者 募集

デイサービスセンターで、ご利用者と一緒にひなまつりのお祝いをしましょう。

日時 3月3日(火) 11時15分から12時30分 費用(昼食代)700円 募集 先着10組

問合せ・申込 高齢者総合センター デイサービスセンター TEL 51-2933

職員リレーコラム

第9回

《今日も富士山に見守られています》

在宅介護支援センター 松原友子

私は、生まれも育ちも山梨県大月市です。山梨といえば「山」ばかりの所です。

子供の頃の遊び場は「桂川」、「岩殿山」です。川で魚釣りはもちろん、川に飛び込み泳ぐ男の子たちもいました。女の子は、もっぱらメダカ取り。メダカを網ですくい、バケツに入れてしばらく眺めるのですが、次の日には死んでしまうのに、また取りに行きました。もう一つの遊び場は岩殿山。1時間くらいかけて登ると中腹に遊具があり、そこで暗くなるまで遊んでいました。時々、蛇が出ますが、誰も驚かない、そんなのどかな毎日を送っていました。そして、のどかに遊んでいる私たち子供に遠くから注がれていたのが「富士山」のまなざしです。

東京に住むようになって20数年経ちますが、ご利用者宅の窓から富士山が見えた時の喜び！

思わず心の中で、「久しぶり、私は元気です!」と言いました。最近になってわかりましたが、通勤路から富士山が見えるんです! 天気の良い時は、冬の今なら冠雪した富士山、夕方には茜色に映える富士山のシルエット。

実家から80km離れた東京でも見守ってくれていることに感謝して、今日も、元気をもらっています。

⇒ 次回は 高齢者総合センターデイサービス 張 黎明

次号は平成27年3月10日発行予定です



武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165 (総務課、在宅サービス課)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護支援・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>